

3年 主題：自ら進んで働くことの大切さ 「ごみステーション」

「わたし」とおじいさんの行動や思いを対比させて考えることで、「みんなのため」に働くおじいさんの素晴らしさに触れ、自ら進んでみんなのために働く大切さに気付くことをねらいとしました。



中心発問では、「ごみステーションの片付けをしているおじいさんと自分を比べて、『わたし』はどんなことを考えたか。」と問い、共感的に考えさせたり、補助発問を行ったりし、児童の思いを引き出し、ねらいとする価値へ迫りました。

終末では、総合的な学習の時間にもお世話になっている地域のボランティアの方からのお話をビデオレターで聞きました。

